

農産物の残留農薬検査結果(令和6年10～11月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁*は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和6年10～11月に医療局食品専門監視班が収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

市内産農産物については、10月になす6検体、かんしょ(さつまいも)4検体、さといも及びだいこんの根各1検体の計12検体、11月にかき、かんしょ、キャベツ及びだいこんの根各2検体、かぶの根、カリフラワー、こまつな及びなす各1検体の計12検体、合計で24検体の検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。なす2検体、かき、こまつな及びさといも各1検体から延べ7項目の農薬が検出されましたが、基準値を超えたものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

* 令和6年4月1日に、食品衛生基準行政は厚生労働省から消費者庁に移管されました。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果 (令和6年10～11月)

農産物	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
かき	2	1	アゾキシストロビン ジノテフラン	0.01	1
				0.09	2
かぶの根	1	0			
カリフラワー	1	0			
かんしょ(さつまいも)	6	0			
キャベツ	2	0			
こまつな	1	1	メタラキシル及びメフェノキサム	0.02	1
さといも	1	1	イミダクロプリド	0.02	0.4
だいこんの根	3	0			
なす	7	2	ブプロフェジン ボスカリド クロルフェナピル	0.03	1
				0.08	3
				0.02	1

注) 中括弧()は同一検体から検出されたもの

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	○	—	○	—	○	エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	○	エトフェンブロックス	0.01	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	○	エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	—	○	エンドリン	0.005	○	—	—	—	—
アセフェート	0.01	○	○	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	—	○	カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	—	○	クミルロン	0.01	○	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	○	クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○	クロマフェンジド	0.01	○	○	○	○	○

表2 (続き) 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○
クロルプロファム	0.01	○	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○
クロロクソン	0.01	○	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	○	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○	○
ジノテフラン	0.01	○	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	フルジオキシニル	0.01	○	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○	○
チアクロブリド	0.01	○	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
チアトキサム	0.01	○	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシ種を含む)	0.005	○	—	○	—	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	ベンコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	○
トリコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	—	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	—	○
トリフロキシストロピン	0.01	○	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	—	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○	○
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	○	メラクロール	0.01	○	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○	○
ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	○	リンデン(γ-BHC)	0.005	○	○	○	—	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ルフエヌロン	0.01	○	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○	○
フィプロニル	0.002	○	○	○	○	○							

農産物の種類 A:こまつな B:かぶの根、カリフラワー、キャベツ、なす C:かんしょ(さつまいも)、さといも
D:だいこんの根 E:かき

○:実施、—:実施せず

* DDTは*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*o,p'*-DDT及び*p,p'*-DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】